

大分類.b 資金力

中分類	小分類	チェックの方法	レベ	診断結果	判定			備考
					H25	H26	H27	
1 資金管理	①利益計画を作成しているか	経営層へのヒアリング	1	利益計画を全く作成していない。				
		経営層へのヒアリング	2	経営者が頭の中だけで利益計画を立てている。				
		経営層と幹部社員へのヒアリング	3	経営者が利益計画を立て、役員や幹部社員は内容を知っている。				
		ヒアリングと利益計画書の確認をする	4	役員や幹部社員が一緒になって長期/短期の利益計画を策定している。				
		利益計画書を確認する	5	会計事務所の協力のもとで長期/短期の利益計画を策定し、実績との対比も行っている。				
	②資金繰りの管理	経営層へのヒアリング	1	資金繰り表を作成していない。経営者が頭の中で資金管理を行っている。				
		ヒアリングと資金繰り表を確認する	2	資金繰り表を作成しているが、役立てていない。				
		ヒアリングと資金繰り表を確認する	3	資金繰り表を作成し、資金繰りが厳しいときだけ利用している。				
		資金繰り表を確認する	4	資金繰り表を作成して月次で資金管理を行っている。				
		資金繰り表を確認する	5	資金繰り表を作成して日々資金管理を行っている。				
	③財務分析の実施状況	経営層へのヒアリング	1	財務分析を全く実施していない。経営者が経験に基づき自分の頭の中だけで行っている。				
		経営層へのヒアリング	2	財務分析を行っており、その数値を同業他社の数値等と比較している。				
		経営層へのヒアリング	3	財務分析の数値から、自社の優れているところ、劣っているところを認識している。				
		経営層へのヒアリング及び記録を確認する	4	財務分析に基づき、優れている点を更に強くし、劣っている点を改善するようにしている。				
		経営計画を確認する	5	財務分析の結果を経営計画に反映し、活用している。				
2 手持ち資金	④安全性	財務諸表から自己資本比率を確認する	1	自己資本比率が同業他社に比べ大幅に劣っている。..				
		財務諸表から自己資本比率を確認する	2	自己資本比率が同業他社に比べやや劣っている。..				
		財務諸表から自己資本比率を確認する	3	自己資本比率は同業他社と同じくらいである。				
		財務諸表から自己資本比率を確認する	4	自己資本比率が同業他社にやや勝っている。..				
		財務諸表から自己資本比率を確認する	5	自己資本比率が同業他社に比べ大幅に勝っている。..				
	⑤純資産の状況	5年間の決算書類を確認する	1	3期以上債務超過状態が続いている。				
		5年間の決算書類を確認する	2	債務超過状態ではないが欠損状態が3期以上続いている。				
		5年間の決算書類を確認する	3	欠損状態ではないが、売上高(または利益額)が減少している。				
		5年間の決算書類を確認する	4	欠損状態ではなく売上高(または利益額)に大きな変化はない。				
		5年間の決算書類を確認する	5	欠損状態ではなく売上高(または利益額)は増えている。				
	⑥運転資金/設備資金	経営層や財務担当役員等へのヒアリング	1	大幅に不足している。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	2	やや不足している。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	3	過不足なし。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	4	やや余裕がある。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	5	余裕がある。いつでも新規投資が可能である。				

3借入余力	⑦中小企業金融活性化法	経営層や財務担当役員等へのヒアリング	1	借入金すべてについて中小企業金融円滑化法を利用している。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	2	借入金の一部について中小企業金融円滑化法を利用している。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	3	取引金融機関にリスクを依頼することを考えている。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	4	中小企業金融円滑化法を過去に利用していたが今は利用していない。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	5	中小企業金融円滑化法を利用したことがない。今後も利用する必要はない。				
	⑧借入金月商倍率	5年間の決算書類を確認する	1	6.0以上である。				
		5年間の決算書類を確認する	2	3.5から6.0の間にある。				
		5年間の決算書類を確認する	3	2.5から3.5の間にある。				
		5年間の決算書類を確認する	4	1.5から3.5の間にある。				
		5年間の決算書類を確認する	5	1.5未満である。				
	⑨信用力	経営層や財務担当役員等へのヒアリング	1	新たな借入が全くできない状況である。(信用なし)				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	2	新たな借入が困難な状況である。(信用不足)				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	3	割高なコストではあるが、なんとか資金調達できる状況である。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	4	一般的なコストで、必要なときに必要な資金を調達できる。				
		経営層や財務担当役員等へのヒアリング	5	有利なコストで、必要なときに必要な資金を必要なだけ調達できる。(信用状態良好)				